

システム・機能別記載のポイント

区分	項目	記載のポイント
	各システムに係るソフトウェア・ハードウェアに関する情報	<p>各システムについて提案があれば資料を提供願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムに係る概要資料、標準機能一覧 ・該当あればカスタマイズ(オプション)機能 ・貴社製品の特徴、他社と比較して優れた点 ・開発方式(ウォータフォール、アジャイル)等 <p>※各システムの項目は、現在のシステムをベースとした分類であり、可能な限り複数項目が統合された一体的なシステムとしての運用が望ましいため、統合を推奨するシステムがあれば、その旨についても記載願います。</p>
	業務システム (OPAC等の基本的な図書館システム全般)	<p>基幹となる業務システム全般について記載願います。</p> <p><補足事項></p> <p>①職員用タブレット、モバイル機器 職員用インカムとしての運用アイデアや、業務システムへのモバイルアクセス方法の提案(閉域SIM、シンクライアント、データレス等)があれば記載願います。</p> <p>②利用者用タブレット等貸出管理 座席予約システムの応用や、資料番号を付与して資料として扱い、利用者に貸し出すことが考えられますが、他に方法や実績等ありましたら記載願います。</p> <p>③ドキュメント(成果物・調査資料等)管理 館内で作成したドキュメントについて、管理アプリケーションの提案及びドキュメント管理(ファイル名の規則等)の標準化の提案があれば記載願います。</p>
	県内図書館専用サイト (おうだんくんポータル)	現在、ログイン方法としてID及びpassを使用していますが、より良いログイン方法があれば提案願います。
	横断検索システム (おうだんくんサーチ)	各市町立図書館とのデータ連携が容易に出来る仕組みについて提案があれば記載願います。
	デジタルライブラリーシステム (ふじのくにアーカイブ)	デジタル化(OCR)⇒保存・公開(ライブラリー)⇒NDLサーチ⇒ジャパンサーチの効率的連携について、提案があれば記載願います。また、デジタル化資料の全文検索を実現する方法についても提案あれば記載願います。ほか、OCRテキストデータ化、JPEG2000、クリエイティブコモンズ等の技術活用や規格対応について積極的に提案願います。

利用者用図書館アプリ	利用者用機能のポータル的役割をスマートデバイス等のアプリに持たせるイメージです。セキュリティ対策、複数 OS・更新対応、決済対応、本人認証対応等、提案願います。
情報発信システム (web 配信、SNS、デジタルサイネージ、VR、AR 等)	<ul style="list-style-type: none"> 各情報発信システム間の連携アイデア、デジタルサイネージを利用したデジタルアーカイブの活用方法について提案があれば記載願います。 配信スタジオ機能(e-sports 等設備など) 図書館内ホールや会議室、県内教育現場との連携アイデアがあれば提案願います。
交流スペース創作活動アーカイブ(司書が、あらゆるヒト・モノ・コトを収集・整理・発信できるDB)	【別添3：ラボの情報活用の流れ】 を参照願います。交流スペースにおける創作活動をアーカイブするシステムについて提案あれば記載願います。※図書館所蔵の資料とは異なり、音楽や料理等といった創作物を一般県民がアーカイブする点に留意ください。
システム全体イメージにおける追加機能 (表6.1.1 オレンジ色文字)	上記①から⑰以外の、新システムでの追加機能・サービス項目(例：職員リモート環境やロボット活用、カメラ映像分析など)について、提案が可能であれば記載願います。
<u>その他の新システム項目の提案<重要></u>	新県立中央図書館におけるDXを進めるにあたり、新技術の積極的な導入を重視しており、 <u>基本構想に記載された項目に限らず、Society5.0、web3.0等の技術を活用した新システム項目について、提案が可能なものがありましたら、現在製品化されていないものを含め積極的に記載願います。</u> (一例) <ul style="list-style-type: none"> 対話型 AI やマイナンバー等の最新技術活用 各システムにおける、警備システムまたは防犯カメラシステムとの連携アイデア(映像分析等) セキュリティ CIA 電子資源管理システム リンクリゾルバ 文献複写管理システム(公衆送信サービス対応) デジタルレファレンスサービス 大学図書館・国立国会図書館との連携サービス提案 ポーンデジタルのアーカイブ化 <p style="text-align: right;">など</p>

システム構成	各要素について、とりまとめた図または別個の図のどちらでも構いません。システム全体の概略が分かるものがありましたら提供願います。
ハードウェア構成図	業務システム関連ハードウェアを提案する場合、とりわけ職員用携帯端末（基本構想 P21:表 4.2.3）の提案があれば積極的な記載をお願いします。
ソフトウェア構成図	書誌データ（メタデータ）の連携等、システム間データ連携について該当がありましたら記載願います。
ネットワーク概念図	6G 時代の将来にわたり対応可能な拡張性を持つネットワーク設計等について提案があれば併せて記載願います。また、館内における指定管理者・委託事業者など別システムとの連携について、セキュリティを確保した上での効果的な連携方法の提案がありましたら、記載願います。
現システムから新システムへの移行案（プロセス・スケジュール）	
想定開発作業スケジュール	図書館整備スケジュールを踏まえた推奨開発スケジュールについて提案あれば記載願います。
現行システムからの移行スケジュール	現リースとの重複期間、データ移行も含めた作業内容など、可能であれば詳細（※1・2）に記載願います。 ※1：システム毎の移行に係る環境凍結時期・期間や、データ移行後の旧システムの併存期間 ※2：環境凍結期間における参照以外の業務の可否、更新分の差分移行、期間等
各システムの移行・継続方法	図書館システムの各システム（業務システム、おうだんくん、県史編さん、ふじのくにアーカイブ、WEB サイト等）をどのように移行するのが良いか提案があれば記載願います。
開発等体制案	
（開発時）	
開発時の委託者との打合せ等実績	開発時の定例会の頻度や、テスト（職員が実際にβ版を触るなど）実施回数、要望のとりまとめ・反映方法、進捗管理等
図書館側人員体制	・ 図書館側に必要とされる職員体制の提案（知識・能力等） ・ （あれば）外部委託にて常駐させるべき人員体制 など
県が提供すべき開発環境	現図書館での作業の有無及びその際に県が提供すべき開発環境（広さ、備品など）があれば記載願います。

(運用時)	
サービスレベル (保守体制全般)・セキュリティ等	<p>事業者にて提供できるサービスレベル (保守体制全般) やセキュリティ CIA について概要を記載願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考例 1 (保守) ソフトウェア上でステータス管理できる仕組み等あれば提案を希望します。 (新館では契約サービスやシステム間の連携が増加するため、システムに関する管理の可視化と定型化を進めるべきとの考えから) ・参考例 2 (セキュリティ) DC が実施しているセキュリティ対策 (アンチパスバックや IC カード+生体認証等の入退室管理他)
ベンダーが県に求める (望ましい) 運用体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館側に必要とされる職員体制の提案 (知識・能力等) ・ (あれば) 外部委託にて常駐させるべき人員体制 など

その他、上記によらず自由提案がありましたら積極的に記載ください。